

事業評価書

補助事業名	王城寺原演習場関連公共用施設(教育文化施設:南大集会所建築工事)整備事業						
補助事業者名	色麻町長 早坂利悦						
実施場所	宮城県加美郡色麻町大字下本町南17番地20 地内						
補助事業の成果の目標	<p>当町では、住民が集会・休養・学習などを行うために共同で利用でき、農業などの従事者等の生産組織の健全な育成を図る施設として、各地域に集会所を設置しており、これらの集会所は、災害等発生時の指定避難所としての役割も果たしている。</p> <p>南大集会所は古い耐震基準で昭和51年度に建築したため、大地震で倒壊する可能性が高く、現状のままでは利用者の安全を確保することが困難な状況にあり、また、玄関、トイレ、台所に段差があることから、高齢者や障がい者の利用に支障を期している。</p> <p>このため、集会所を建替えし、バリアフリー化することにより、利用者の安全を確保するとともに利便性の向上を図り、地域住民の生活環境の向上に寄与するものである。</p>						
補助事業の内容	木造平屋建 A=163.13㎡						
補助事業の始期及び終期	令和3年度						
事業費及び交付金額		3年度					計
	事業費	円 48,730,000	円	円	円	円	円 48,730,000
	交付金額	46,000,000					46,000,000
補助事業の成果及び評価並びに関係住民への周知の実施状況	<p>【成果】 建替えにより、老朽化が解消でき、玄関スロープの設置やトイレ等のバリアフリー化により、利用者の安全の確保及び利便性の向上が図られた。</p> <p>【評価】 事業完了後に、本集会所を利用している住民80名を対象にアンケート調査を行った結果、バリアフリー化の利用者の安全の確保については、「非常に満足」と「満足」の合計が約96%となり、施設全体の使い勝手の利便性については、「非常に満足」と「満足」の合計が約100%となった。加えて、「バリアフリー化され安全になった」、「収納場所が沢山あって良い」や「トイレが男女別になったので、大変使い勝手が良くなった」等の意見が得られたことから、利用者の安全の確保及び利便性の向上が図られたと評価できる。</p> <p>【周知の実施状況】 町のホームページや広報誌へ特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で整備したことを掲載するとともに、集会所には、同内容が分かるステッカーを貼り、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、利用者の安全の確保及び利便性を考慮しながら適切な維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						